

地域ネットワークニュース

第8回 6月16日(火)報告

第7号 病院ってどんなところ？
発行先 地域ネットワーク勉強会

連絡先 神栖町社会福祉協議会
TEL 0299-93-0294
FAX 0299-93-2333

第8回勉強会報告

テーマ 病院ってどんなところ？

話題提供 中島 章 氏

参加者 薬剤師2名、訪問看護婦2名、医師1名、歯科医師1名
グループホーム経営者1名、ボランティア代表1名
生協1名、社協職員3名 (12名)

病院はオアシスのようなもの

病院は患者にとって「砂漠のオアシス」のように、心身が癒やされて元気を取り戻せるような場所のはず。(癒やしの環境研究会代表高柳和江)

日本の病院の環境(狭い、プライバシーがない、規則づくめ)は、先進国の病院のレベルと比べ10年以上遅れているということに憂いて、日本医科大学病院管理学助教授の高柳先生は、1995年に「癒やしの環境研究会」をつくりました。その研究会でのワークショップの一部を今回、参加者全員がグループに分かれて体験しました。(右表は例)

病院って誰のためにあるの？

ワークショップの記録

テーマ名	問題点	解決策
聞かれたくない	ポータブルトイレを使用している音 家族との会話、電話の声	音には音(BGM等) 面談室、ボックス型電話
見られたくない プライバシー	丸刈りの頭、パジャマ姿、素顔 診察の時さらけだされる。	パーティションの設置 人権の尊重、声がけ
欲しいもの		患者用図書室

短時間で、私はこういう経験がある、私はこういうことに関心を持っているなどの意見が出て、地域(住民)が病院をつくっていくということが実感できたことがこのワークの最大の収穫でした。

ワークショップというのはワークが作業であり、ショップは売り物という意味。ひとつのテーマについて討議(自由に意見を出しあう)をして最後に発表する。



座長は白十字病院総務課長 飯岡氏

次回の第9回地域ネットワーク勉強会は
7月14日(火)夜7時より開催します。
場所は保健総合福祉センター2階会議室Bです。
みなさんのご参加をお待ちしてます！

次回のテーマ

**病院って
どんなところ?(後編)**

おたのしみに!!